

(別紙)

平成 25 年度地域と連携した子どもの体力向上支援事業 ふりかえりシート

団体名(海士町スポーツ推進委員)【児童・未就学児】

1. 事業名

体を使ってあそばあや

2. 主な活動

ニュースポーツやボールを使った遊び。

3. 成果

子どもの中でも異年齢間の交流、年長者が自然に年少の子を視る姿が見て取れた。

4. 次年度以降の展望

(今年度の取組の成果や課題を受けて、将来のビジョン、展開の方法など)

海士の子どもは行事がいっぱい。

高学年はミニバスケット、バレー、レスリングとあり、公民館の体験メニューもある。そういう中で単体のイベントとして、企画するのが難しい。

一日子どもを預かる気持ちで、体験と運動というセットで企画していくことが海士町にあったやり方と感じた。

様々な行事と照らし合わせ、子どもの取り合いにならないスケジュール立てが必要であった。

4. 県への要望(この1年間で感じたことをこの機会に何でも！)

イベント的に開始するには行事がかなり入っている。「図書館に行けば本を読める」というように、「中央公民館に行けば何か遊べる」というような、身体を動かすことの日常化をめざせればと思いました。(ハードルが色々ありそうですが。)

【活動写真】



(クップやりますよー！クップ？)



(クップやってみよう！)



(ソフトバレーのボールで
ドッジボール)



(ボール二つでやってみよう！)



(スポーツチャンバラでヤー！)



(二人でやればおとなだって)